

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成 23年 4月 1日 ~ 平成 28年 3月 31日
3. 業務の範囲	(1)旭ヶ丘公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)旭ヶ丘公民館の使用許可に関すること。 (3)使用料の徴収に関すること。 (4)公民館事業の実施に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目		配点		採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間 /日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95% 4点	年次報告書P78.79(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H25度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 大ホール:53.9%(平均値比92% =53.9%÷58.7%) 中会議室:36.9%(平均値比101% =36.9%÷36.5%) 小会議室:37.2%(平均値比100% =37.2%÷37.1%) 研修室:22.9%(平均値比101% =22.9%÷22.6%) 和室(A):28.2%(平均値比95% =28.2%÷29.6%) 和室(B):30.8%(平均値比97% =30.8%÷31.9%) 料理実習室:10.7%(平均値比106% =10.7%÷10.1%) 平成25年度に近隣施設(根本交流センター)ができ、一部の利用者が活動の場所を移動したことによる。	4点						
			②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比(97%)=利用率(31.5%)÷32.4%(上記(2)適用)		年次報告書P78.79(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H25度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 大ホール:18,109人(平均値比86% =18,109人÷21,039人) 中会議室:5,936人(平均値比89% =5,936人÷6,666人) 小会議室:3,828人(平均値比96% =3,828人÷4,004人) 研修室:2,647人(平均値比100% =2,647人÷2,651人) 和室(A):4,748人(平均値比92% =4,748人÷5,162人) 和室(B):5,312人(平均値比94% =5,312人÷5,622人) 料理実習室:1,171人(平均値比107% =1,171人÷1,098人) 平成25年度に近隣施設(根本交流センター)ができ、一部の利用者が活動の場所を移動したことによる。		3点					
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	年次報告書P84～86(文化事業一覧) ①公民館まつり ・第19回ふれあいまつり 参加者 750人(野外イベント、ステージイベントともに大盛況。ステージでは初参加2団体を含め、17団体が発表し、会場は満席、会場全体が一体になって楽しめた。) ・趣味の作品展 ②地域意識醸成事業 ・夏休み親子工作教室(85人・北栄校区青少年まちづくり市民会議との共催) ・未就園児とママのクリスマス会(39組・活性化委員の会との共催) ほか	仕様書以上 12点	・公民館まつり「趣味の作品展」は大変好評で、出品した同好会への入会希望もあった。 ・地域団体と連携して期待以上の成果を上げている。	12点						
			(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P84～86(文化事業一覧) ・子どもの居場所づくり「寺子屋」 ・おやじの料理 ・ひだまりサロン ・地域の人材を活用した「木版画を楽しもう!」、「韓国の家庭料理」 ・ローカギャラリー(759人) ほか	期待以上 13点		・公営団地や大型団地が立ち並び、共働きの多い地域の子どもの居場所づくりとして、地域ぐるみで子どもを見守る事業を開催している。 ・地域の人材を講師として地域をつなぐ公民館事業を開催している。	13点				
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	年次報告書P80(維持管理業務) 施設内清掃(基準:毎日)を実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点							
		②保守・点検			年次報告書P80(維持管理業務) ・消防設備保守点検(基準:年2回) …年2回実施 ・空調機器設備保守点検(基準:年4回) …年14回実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。								
		③保安・警備			機械警備業務を委託して実施(毎日)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。								
		④小規模修繕			年次報告書P81(有償修理の内訳) 有料修繕 全25件 総額 1,586,579円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 協定書の規定(修繕1件20万円)の範囲を超えて、ホール、和室窓ガラスにガラス飛散防止フィルムを貼付した。(232,680円)								
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			特になし	適正(普通) 2点	適正に実施されている。								
			①文書管理		①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価す	市に準拠した方法で管理している(ファイリングシステム)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。							
	②環境への配慮		①節電対策 館内証明をほぼすべてLED化、ゴーヤカーテンほか ②節水対策 外トイレ手洗い水栓の自動化、雨水利用ほか ③枯れ木処理、再生紙利用、職員・地域ボランティア・北陵中学校生徒会ボランティアによる定期的な草刈りほか			期待以上 3点	光熱水費の削減につながった。(電力減量 4,170kwh、水道減量 34㎡)								

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	③バリアフリー	15	る (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・体の不自由な方のため、玄関入り口の段差軽減用に発泡スチロール製ブロックを用意し、職員がサポートしながらご利用いただいているが、バリアフリー化は継続的な大きな課題。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	12点
			④備品管理			・備品に不具合がないか、安全に使用できるか定期的に点検し、必要な修繕を行っている。 ・安全性に問題が生じる場合は速やかに買換えている。(天井扇撤去、長机や卓球台の購入) ・買換えた備品には「備品シール」を貼り、適正に管理している。	期待以上 3点	協定書の規定以上(備品1件20万円)の範囲を超えて、卓球台4台を買い替えた。(441,000円)	
			⑤個人情報保護			多治見市文化振興事業団「個人情報保護方針」に基づき実施している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	・外トイレ手洗い水栓開けっ放し(6/15～16) 前日夜からの悪戯の可能性が高く、至急、自動水栓に改修した。 ・迷子発生(6/16) 2～3歳の幼児が素足で公民館駐車場フェンスによじ登っていると利用者から通報があり、職員が本人の道案内で送り届けた。 ・駐車場入り口チェーン切断(6/18/6/21) ・ホール利用者が右足首打撲と親指爪裂傷(7/3) ホール内で、キャスター付フライングテーブルのロックを解除しないまま移動されたため、机が手前に倒れ、右足首打撲と親指の爪に裂傷を負われた。病院で4回治療を受けられ、公民館総合保険の適用を受けた。 この機の移動時には、必ずキャスターのロック解除を、と注意書きをしてあるが、ホール利用者には一層の注意を呼び掛けている。 ・「寺子屋絵手紙」参加小学生のけが(8/1) 「寺子屋」に参加の小学生がスリッパから自分の靴に履き替えようとした際、前の時間に利用していたステンドグラス同好会の小さなガラス破片が素足の足裏に刺さり、幸い大事に至らず、消毒を済ませ、保護者に状況を説明した。 直前利用の利用団体には再度徹底的な清掃をお願いした。子どもたちにも素足のまま床に足を付けないよう呼びかけを徹底します。 ・ホール扉ガラス破損(8/30) ホール扉のガラスの破損があった。飛散防止フィルムが貼り付けてあったため、幸い怪我はなく、直ちに、飛散防止フィルム付ガラスにて修繕した。 その後、利用者の安全のため、利用者にけがはなかった。	事故なし・対応に不備なし 0点	迅速かつ適切な対応を行った。	0点
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入19,398,170円÷支出17,846,508円＝109%	105%以上 5点	指定管理委託料の範囲内で適正に事業が行われている。	5点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	①女性利用者から、「寺子屋『宿題やろう!』」参加の小学生に罵声を浴びせられた。子どもには基本的なマナー指導が必要である」との指摘があった。⇒寺子屋ボランティア講師、北栄小学校と連携し、「寺子屋参加ルール」を作成し、参加小学生に説明・指導した。以後、「参加ルール」の徹底を図った結果、年間を通して、熱心に宿題に取り組む小学生が増え、一般利用者への迷惑言動もなくなった。 ②自主講座「木版画を楽しもう!」終了後、作品展示の要望があった。⇒ローカギャラリーにて展示開催。好評につき、同好会に発展した。 ③市内には他に子どもが「百人一首」を楽しめる場がないので、校区外からの参加でも間に合うよう、寺子屋「百人一首」開催時間延長の要望があった。⇒寺子屋ボランティア講師の都合を聞きながら曜日を変更するなど、今後の課題とします。 ④自主講座「おやじの料理」に参加したいが、「初心者でも参加できる、より簡単な料理コース開講」の要望があった。⇒26年度に初心者向け「月一回、一品のみの料理講座」を開催します。 ⑤「第33回趣味の作品展」見学者から、「作品のレベルが高すぎるので初心者向け講座開催」の要望があった。⇒一番人気の「和紙絵」の初心者向け講座を26年度に開催します。	適正(普通) 7点	各要望に対し、迅速に対応し、かつ新事業に取り入れるなど積極的な対応が見られる。	7点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	1:研修室の共有スペース棚の扉がきっちり閉まらず使い勝手が悪い。⇒閉まりの解決と地震時の安全対策を目的に、研修室、料理実習室の観音開きの棚全てに「耐震用扉開閉ロック」を設置した。 2:部屋を間違って入ってくる人がある。⇒各部屋の前に「利用団体名札」を掲示した。これは入室の間違いを防ぐと同時に、利用団体PRIにもなり、新規会員の加入につながった。 3:印刷機利用時の原稿チェックは、自治会役員(区長)であってもしているのか?⇒自治会区長が利用される場合は年度当初に印刷機について適正な使用を説明しているため、毎回原稿のチェックはしていなかったが、指摘後、全ての原稿チェックの徹底を始めた。 4:印刷機利用時の「原稿チェック」は事務的すぎて、今まで築いてきた公民館との信頼関係が薄れてしまうようで残念である。⇒「原稿チェック」は私的な利用のチェックばかりではなく、印刷機使用に適さない原稿による印刷機の故障防止も目的である、と説明しご理解をいただいた。 5:図書室で携帯電話で長電話をしている人があり、入室しづらかった。⇒市担当課からご連絡をもらい、すぐに注意書きを掲示した。 6:実習室の手洗い石鹸の場所が分かりづらい。⇒手指消毒薬など「除菌グッズ」を、わかりやすくまとめてカゴに入れ実習室の各調理台に設置した。 7:中会議室の音楽練習が、あまりにも大きな声でうるさい。⇒中会議室はピアノもあり音楽練習のできる部屋であることを説明し、ご理解いただいた。	苦情なし・適正(普通) 4点	苦情に対しても、丁寧に應對し、迅速かつ適切に対応している。	4点

		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	【成果】利用者にとって、より安全で安心な施設であるよう、平成20年度以降、子どもたちの問題行動や実情などを地域の様々な団体に情報発信してきた。こうして様々な情報をお互いに共有し、「地域全体で子どもたちを見守ることの大切さ」を地域みなさんに意識してもらい、「みんなで見守る」という地道な取り組みの結果、子どもたちが徐々に落ち着いてきた。 【課題・提案】今後も、学校、市民会議、児童センター等と日頃から一層情報交換し、この地域の子どもたちが夢や希望や目標を持てるような「子どもの育ち」を助ける地域づくりを進めます。このために、公民館事業として、地域住民ボランティア講師の協力で進めている「子どもの居場所づくりとしての寺子屋事業」の充実をめざします。教えてもらう子どもの居場所として、また教えるボランティアさんの活躍の場として継続します。	期待以上 13点	公営団地や大型団地が立ち並び、共稼ぎが多いため、放課後の子どもの居場所づくりに力を入れ、取り組んで成果をあげている。 子どもの問題行動等を地域とともに見守りながら、良い方向へ導くよう努力していることは大変評価できる。 今後も地域や関係施設と情報を共有し、ともに子どもの健全育成に努めていただくよう期待する。	13点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	適正に実施されている	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	適正に実施されている	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	なし	0点
合計		##	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下					合計83点
							全体的な評価 ・様々な問題を抱える地域の中で頻発するトラブルに対し、適切に処理している。 ・地域の人材を講師とした講座が好評により同好会へと発展させることができた。 ・男性が参加しやすい講座を企画し、地域での交流促進をすすめることができた。 ・「寺子屋」事業では、放課後の子どもの居場所づくりに貢献し、新事業も実施した。 ・ロビーがない施設なので、ローカギャラリーを開催し、新しい利用者の来館促進につながった。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	良好